

個人の部



吉田 葵 さん (福岡県・3年生)



『イルカのジャンプ!!』

私は、今年の夏休みはイルカの絵を描こうと決めていました。画用紙に描くつもりだったのですが、手づくり絵はがきコンクールというものがあるのを知り、「紙が自分で作れるんだ、おもしろそう」と思い、挑戦することにしました。
紙すきの道具を一から作りました。パルプ液を作るころは難しかったけど、出来上がった液をわくのすみまで入れて、型をはずした時、上手に出来ていてうれしかったです。
水族館に何度も行き、イルカのジャンプの絵を描くことにしました。ジャンプの迫力は、歯ブラシをはじめて作った水しぶきで表しました。牛乳パックで作ったはがきは画用紙と違ってにじみやすく、空の青と海の青をいい色にしてくれました。
初めて自分で作ったはがきに大好きなイルカを描いて最優秀賞をとれるなんて本当にうれしいです。ありがとうございます。



最優秀賞を受賞した吉田 葵 さん



1年生



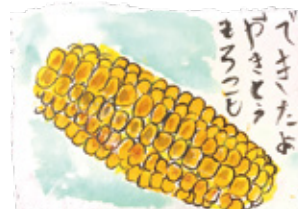
『ぼくのかっているカマキリくん』
齊藤 春一 さん (福岡県)

2年生



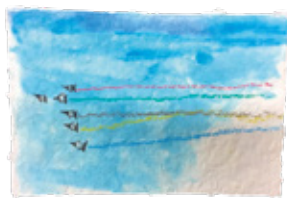
『強いぞ ノコギリクワガタ』
中元 朝輝 さん (兵庫県)

3年生



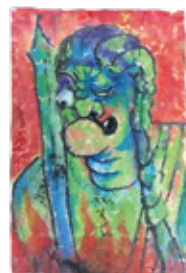
『やきとうもろこし』
野上 歩真 さん (東京都)

4年生



『ブルーインパルス!』
日向 もも葉 さん (東京都)

5年生



『夏休みコロナ禍のお母さん』
多田 憲太 (兵庫県)

6年生



『夏の思い出』
片岡 佳翼 さん (埼玉県)

第18回

手づくり絵はがきコンクール

受賞者発表

たくさんのご応募ありがとうございました
日本全国の小学生から3,759 作品の応募がありました!

夏の思い出と、リサイクルの体験を忘れずに。

「手づくり絵はがきコンクール」は、牛乳パックをリサイクルして紙をつくる。その紙をはがきにして「夏の思い出」を描くコンクールです。日本製紙連合会が、子どもたちに紙への関心を高めてもらうとともに、紙のリサイクルを身をもって体験してもらうことを目的に当コンクールを18年開催してきました。牛乳パックがはがきに生まれ変わる驚きと、1枚の絵はがきに仕上げた達成感が、ひと夏の思い出とともに、いつまでも子どもたちの心に残ってくれることを願っています。

団体の部



守谷・みらい平キッズ絵画造形クラブ (茨城県)

このたびは団体の部・最優秀賞に選んでいただき、感謝しています。
紙すきは、何年もやらせたかったのですが、道具を揃えられず、やれませんでした。去年、代用品でできることを知り、挑戦しようと思いました。手作業で牛乳パックを溶かすところから始めたのですが、きれいに溶けるまでに時間がかかり、用意した道具ではうまくすくえませんでした。「もうやりたくない」という子も現れましたが、男子の『めんどくさいことは省略する』という工夫が救ってくれました。植木鉢の底網だけできれいにすくえ、紙がようやくできあがりました。
コロナ禍で教室が開けない時もあり、「夏の思い出なんかない」という声もありましたが、時には宿題にして、一人一人の夏の思い出を描くことができました。今回の受賞が良い思い出になればと願っています。本当にありがとうございました。



守谷・みらい平キッズ絵画造形クラブの皆さん

